

(参考)

※ 当該様式は特に定まっているわけではありませんが、参考のために一つの記載例を示せば、次のとおりです。

「住宅用家屋が新築に準ずる状態にあること又は増改築等対象家屋が工事の完成に準ずる状態にあることを新築又は増改築等工事を請け負った建設業者が証明し、工事完了予定日の記載のある書類」

申告される方の氏名

〇〇 〇〇

に係る下記1に所在する建物について、本証明書発行日現在において、

屋根（その骨組みを含む。）を有し、

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{土地に定着した建造物} \\ \text{既存家屋と一体となって土地に定着した建造物} \end{array} \right\}$$
として認められる
時以後の状態であることを証明します。

記

1 住宅用家屋の所在地等

所在地 名古屋市〇〇区〇〇町△△番地××

建物の種類 居宅 構造 木造 延床面積 120 m²

2 工事完了予定日 令和 7 年 4 月 10 日

証明日

令和 7 年 2 月 1 日

建設業者

住所又は所在地 名古屋市××区〇〇町〇〇番地△△

氏名又は名称 〇〇建築株式会社

証 明 書

「住宅用家屋が新築に準ずる状態にあること又は増改築等対象家屋が工事の完成に準ずる状態にあることを新築又は増改築等工事を請け負った建設業者が証明し、工事完了予定日の記載のある書類」

_____に係る下記 1 に所在する建物について、本証明書発行日現在において、
屋根（その骨組みを含む。）を有し、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{土 地 に 定 着 し た 建 造 物} \\ \text{既存家屋と一体となって土地に定着した建造物} \end{array} \right\}$ として認められる
時以後の状態であることを証明します。

記

1 住宅用家屋の所在地等

所 在 地 _____

建物の種類 _____ 構造 _____ 延床面積 _____ m^2

2 工事完了予定日 令和_____年_____月_____日

令和_____年_____月_____日

建築工事請負業者

住所又は所在地 _____

氏名又は名称 _____